

令和3年度

教 育 要 項

医療情報管理専攻科

学校法人 東洋学園

宮崎医療管理専門学校

目 次

序	文
授業科目及び単位数	1
時間割表	2
体育実技	3
医療概論	4
臨床医学V	5
プログラミング演習	6
データベース演習	8
基本情報技術	9
セキュリティマネジメント	10
統計演習	11
医事業務研究	12
医療統計Ⅰ	14
医療統計Ⅱ	15
国際統計分類Ⅰ	16
国際統計分類Ⅱ	17
診療情報管理論Ⅱ	18
診療情報管理論Ⅲ	19
試験対策（医学）	20
試験対策（管理）	22
試験対策（総合）	24
DPC演習	27
施設基準管理	28
実習指導	29
診療情報管理実習	30
全学連携演習	31

序 文

現代の社会において、人々の抱える様々な問題に対し、誰もが安心して暮らしていける仕組みづくりが求められています。特に、医療保険・年金保険・社会福祉制度の改革等が行なわれ、人々が自立した日常生活を営むことができるための適切な医療・福祉サービスの提供、また医療・福祉・保健の有機的な連携と地域福祉の更なる推進が今後ますます求められてまいります。また、それらの中でそれぞれの専門職が知識や技術を活用しつつ、多職種と連携し人々の生活を支えていくことが重要となります。

本校では、各学科において、高度な知識や技術の習得と情操豊かな人間性の確立をふまえた専門職の養成を行っております。特に、患者さんや利用者の方々の立場にたったサービスが提供できるマネジメント力を身につけるため、医療情報管理科では情報関連の複数の科目を連携させたデータサイエンス、介護福祉科ではヘルスアセスメントに大切なバイタルサインの学習、こども科では卒業と同時に幼稚園教諭資格が取得でき、さらに短期大学士（幼児教育学）の称号が得られる特色あるカリキュラムを設定しています。

この教育要項は、本校で学ぶ各学科目についての「学習目的・目標・内容」等の指針が示されています。これらは皆さんが計画的かつ主体的に学んでいくための重要な情報で学習意欲の向上に役立つものです。学生生活をより有効に、より有意義に過ごせるよう各学科目についての理解を深め、科目間の関連をよく把握するため、この教育要項を十分に活用することを希望します。

昨今、様々な職種で人材不足が叫ばれている中、皆さんは将来、医療機関や社会福祉関係施設、幼児教育施設、その他関連した職場で、マネジメントリーダーとしての活躍が期待されております。それぞれの職種に必要とされる専門的な知識や技術を習得し、強い精神力と行動力の発揮できる人材を目指して下さい。そして、本校の建学の精神「よき医療・福祉従事者であるとともに情操豊かな人格者であれ」という人間性の確立を目指し勉学に励むことを期待します。

なお、各教科に関連する専門図書を多数用意しておりますので、学習内容を補強するためにも、図書室の有効活用を奨励します。

令和3年4月1日

学 校 長 川野竜太郎

【医療情報管理専攻科】

授業科目		卒業要件		授業形態			
		単位数	時間数	講義	演習	実習	
一般 教養科目	体 育 実 技	1	30		○		
医学基礎 科目	医 療 概 論	2	30	○			
	臨 床 医 学 V	2	30	○			
専門技術科目	データサイエンス	プログラミング演習	2	60		○	
		データベース演習	1	30		○	
		基本情報技術	2	30	○		
		セキュリティマネジメント	1	15	○		
		統 計 演 習	1	30		○	
	診療情報管理士	医 事 業 務 研 究	2	60		○	
		医 療 統 計 I	1	15	○		
		医 療 統 計 II	1	15	○		
		国際統計分類 I	3	45	○		
		国際統計分類 II	2	30	○		
		診療情報管理論 II	2	30	○		
		診療情報管理論 III	1	15	○		
		試験対策 (医学)	2	60		○	
		試験対策 (管理)	2	60		○	
		試験対策 (総合)	6	180		○	
	D P C 演 習	1	15		○		
	施 設 基 準 管 理	1	15	○			
	実 習 指 導	1	15		○		
	診 療 情 報 管 理 実 習	1	40			○	
	その他	全 学 連 携 演 習	1	15		○	
合 計		39	865				

医療情報管理専攻科

令和3年度 前期 時間割

		月	火	水	木	金	土
1	9:10 ～ 10:40	国際統計 分類Ⅱ 馬原裕加里 30/30	データベース 演習 福元 進 30/30		医療統計Ⅱ 鶴田来美 15/15	医事業務 研究 川野哲朗 60/60	診療情報管 理論Ⅱ 谷元 淳 30/30
2	10:50 ～ 12:20	試験対策 (管理) 福元 進 30/60	体育実技 福元 進 30/30		基本情報 技術 福元 進 30/30		国際統計 分類Ⅰ 丸山こずえ 90/90
3	13:10 ～ 14:40	医療概論 櫛橋弘喜 30/30	臨床医学Ⅴ 入船裕子 15/15		試験対策 (医学) 椎屋良子 30/60	DPC基礎 馬原裕加里 30/30	臨床医学Ⅴ 宮本浩仁 15/15
4	14:50 ～ 16:20	ガイダンス 馬原裕加里			全学連携 演習 教務 15/15		

令和3年度 後期 時間割

		月	火	水	木	金	土
1	9:10 ～ 10:40		プログラミング 演習 福元 進 30/60	試験対策 (医学) 椎屋良子 30/60	プログラミング 演習 福元 進 30/60	試験対策 (管理) 福元 進 30/60	国際統計 分類Ⅰ 丸山こずえ 45/45
2	10:50 ～ 12:20						診療情報 管理論Ⅲ 小倉千春 15/15
3	13:10 ～ 14:40			統計演習 平田賢一 30/30	ガイダンス 馬原裕加里		
4	14:50 ～ 16:20				施設基準管理 黒木 寛 15/15		

※ 10/12～ 診療情報管理実習

※ 1/7～試験前日まで 診療情報管理士認定試験対策

科目名	体育実技						
学年		時期	前期	分野	一般教養科目	必修選択	必修
単位数	1	時間数	30	授業形態	演習	担当講師	福元 進（専任教員）
授業概要	運動の楽しさや喜びを感じることができるよう自ら進んで運動し、自己やグループの能力、特性に応じた課題の発見、解決を目指す。また、健康・安全に留意して運動できるよう、協力や責任についても考えていく。						
到達目標	①体育実技を通して、各競技の運動技術を高めると共に自己の体力向上に努める。 ②競技を楽しみながら仲間との協調性や社会性など身につける。						
授業計画	回数	授 業 内 容					
	1	オリエンテーション					
	2	体力作り（長距離走）					屋外
	3	レクリエーションゲーム実践①					屋外
	4	バドミントン					体育館
	5	インディアカ					屋外
	6	バレーボール					体育館
	7	ソフトボール（サッカーボール使用）					屋外
	8	レクリエーションゲーム実践②					屋外
	9	バスケットボール					体育館
	10	サッカー					屋外
	11	卓球					教室
	12	ソーラン節					教室
	13	レクリエーションゲーム実践③					屋外
	14	レクリエーションゲーム実践④					屋外
	15	まとめ（ふりかえりレポート作成）					
※天候により、内容及び場所の入れ替えを実施する。							
評価方法	以下の内容で総合的に評価し、6割以上で単位を認める。 ・レポート課題 30% ・受講態度（技術点）、出席状況 70%						
テキスト 参考文献	・使用テキスト なし ・参考文献等 なし						
備考							

科目名	医療概論						
学年		時期	前期	分野	医学基礎科目	必修選択	必修
単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	担当講師	櫛橋 弘喜 (非常勤講師)
授業概要	医学を社会的に適用させて、はじめて医療が成り立つものである。医学と医療に関する歴史の変遷を知ったうえで、医療の現状を理解する。						
到達目標	医学、医療に関する歴史の変遷を知り、社会保障制度の枠組みである所得保障、医療保障、公衆衛生、社会福祉の原則と実態を理解する。 関係法規の知識を得て、医療の社会的役割を理解する。						
授業計画	回数	授 業 内 容					
	1	医学・人間の生命にかかわる科学、医学・医療の分化と統合					
	2	医学の起源					
	3	古代の医学（～5世紀）					
	4	中世の医学（5～16世紀）					
	5	近世の医学（16～19世紀）					
	6	二十世紀の医学					
	7	わが国の医学と医療の歴史					
	8	現代医療					
	9	医の倫理					
	10	社会保障制度					
	11	医療制度					
	12	医療法と医療計画					
	13	地域保険と公衆衛生					
	14	予防医学					
15	科目修得試験						
評価方法	以下の内容で総合的に評価し、6割以上で単位を認める。 ・科目修得試験 90% ・受講態度、出席状況 10%						
テキスト 参考文献	・使用テキスト 診療情報管理士テキスト 診療情報管理 I 講師作成のプリント ・参考文献等 なし						
備考							

科目名	臨床医学V						
学年		時期	前期	分野	医学基礎科目	必修選択	必修
単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	担当講師	宮本 浩仁 (非常勤講師) 入船 裕子 (非常勤講師)
授業概要	<p>皮膚科疾患（一部膠原病内科疾患）、整形外科疾患の概要と症状、治療法、予後等について学びそれが、将来の仕事に役立つようになること。</p> <p>精神および行動の障害について、その分類の意味とその原因、症状、所見、診断根拠、治療法などの概要を理解し、疾患の適切なICDコーディングにつながる基礎知識を修得し、応用することを目標とする。</p>						
到達目標	<p>① 皮膚疾患、結合組織疾患、筋骨格疾患について正しく理解し、社会に出た際に、その知識が応用できるようになること。</p> <p>② 精神及び行動の障害に分類されている各疾患とその分類を理解する。</p> <p>③ 各疾患の原因、特徴、症状、診断法、治療などの知識を習得、説明することができる。</p> <p>④ 精神および行動の障害について得た知識を基に、患者や家族に対する関わりの中で応用できる。</p>						
授業計画	回数	授 業 内 容					
	1	皮膚皮下組織疾患の総論 蜂巣菌、水疱症、皮膚炎及び湿疹					
	2	丘疹落屑（鱗屑）性障害、蕁麻疹および紅斑、放射線皮膚炎、付属器の障害					
	3	その他の障害、悪性新生物					
	4	関節障害					
	5	全身性結合組織障害					
	6	脊柱障害					
	7	軟部組織障害、骨格系の障害および結合組織のその他の障害					
	8	科目修得試験					
	9	症状性を含む器質性精神障害（アルツハイマー病の認知症・血管性認知症）					
	10	統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害					
	11	気分（感情）障害					
	12	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害					
	13	パーソナリティおよび行動の障害					
	14	知的障害（精神遅滞）					
	15	発達障害（自閉症、アスペルガー症候群、ADHD等）					
	16	科目修得試験					
評価方法	<p>以下の内容で総合的に評価し、6割以上で単位を認める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 科目修得試験 100% ・ 受講態度、出席状況 						
テキスト 参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用テキスト 診療情報管理士テキスト 診療情報管理 I 講師作成のスライド ・ 参考文献等 ICD10精神及び行動障害 臨床記述と診断ガイドライン 						
備考							

科目名	プログラミング演習						
学年		時期	後期	分野	専門技術科目/ データサイエンス	必修選択	必修
単位数	2	時間数	60	授業形態	演習	担当講師	福元 進（専任教員）
授業概要	<p>小学校で始まるプログラミング教育の目的として「プログラミング的思考」を養うこととある。「プログラミング的思考」とは、目的やゴールから逆算し物事を順序立てて考え、結論を導き出す手段である。本演習では、プログラミング実践を交え「プログラミング的思考」の向上を目指す。</p>						
到達目標	<p>①アルゴリズムを理解できる。 ②変数、配列の使い方を理解できる。 ③プログラムのデバッグができる。</p>						
授業計画	回数	授 業 内 容					
	1	演習問題①「プログラムの基本（プロシージャ）」					
	2	演習問題②「オブジェクトの使い方（ラベル、テキストボックス、コマンドボタン）」					
	3	演習問題③「簡単な演算、メッセージボックス」					
	4	演習問題④「変数の使い方」					
	5	演習問題⑤「繰り返し処理①」					
	6	演習問題⑥「繰り返し処理②」					
	7	演習問題⑦「配列の使い方」					
	8	演習問題⑧「これまでの復習」					
	9	演習問題⑨「円を描く（ピクチャーボックス）」					
	10	演習問題⑩「コンボボックス、リストボックス」					
	11	演習問題⑪「2つのフォーム」					
	12	演習問題⑫「宣言セクションによる変数宣言」					
	13	演習問題⑬「複数プロシージャの使用」					
	14	演習問題⑭「標準モジュール、複数フォームの使用」					
	15	演習問題⑮「乱数の使用」					
	16	演習問題⑯「スロットゲームの作成」					
	17	演習問題⑰「例題演習①」					
	18	演習問題⑱「例題演習②」					
	19	演習問題⑲「例題演習③」					
	20	演習問題⑳「タイマーの使用」					
	21	演習問題㉑「これまでの復習」					
	22	演習問題㉒「例題演習④」					
	23	演習問題㉓「例題演習⑤」					
	24	演習問題㉔「例題演習⑥」					
	25	演習問題㉕「15パズルゲーム作成」					
	26	演習問題㉖「15パズルゲーム作成」					
	27	演習問題㉗「りんご拾いゲーム作成」					
	28	演習問題㉘「りんご拾いゲーム作成」					
	29	まとめ					
	30	科目修得試験					

評価方法	<p>以下の内容で総合的に評価し、6割以上で単位を認める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各回における課題の完成状況 70% ・ 受講態度、出席状況 30%
テキスト 参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用テキスト 講師作成のプリント ・ 参考文献等 なし
備 考	

科目名	データベース演習						
学年		時期	前期	分野	専門技術科目/ データサイエンス	必修選択	必修
単位数	1	時間数	30	授業形態	演習	担当講師	福元 進（専任教員）
授業概要	データベースソフトを用いた実践を通し、ソフトの基本的な使い方を習得していく。また、データベースの最適な作成方法を考察し、簡単なデータベースを作成できる技術を習得する。						
到達目標	①リレーションシップについて理解できる。 ②データの正規化、テーブル設計ができる。 ③クエリの作成ができる。 ④フォーム、レポートの作成ができる。						
授業計画	回数	授 業 内 容					
	1	データの正規化とテーブル設計演習①					
	2	データの正規化とテーブル設計演習②					
	3	クエリを用いた演習①					
	4	クエリを用いた演習②					
	5	クエリを用いた演習③					
	6	フォーム作成演習①（各オブジェクトの役割）					
	7	フォーム作成演習②					
	8	レポート作成演習①					
	9	レポート作成演習②					
	10	マクロ作成演習					
	11	総合演習 例題データベース作成①					
	12	総合演習 例題データベース作成②					
	13	総合演習 例題データベース作成③					
	14	VBA					
15	科目修得試験						
評価方法	以下の内容で総合的に評価し、6割以上で単位を認める。 ・科目修得試験 60% ・各演習で作成したファイル 20% ・受講態度、出席状況 20%						
テキスト	・使用テキスト 講師が作成したプリント						
参考文献	・参考文献等 30時間でマスターACCESS2010						
備考							

科目名	基本情報技術						
学年		時期	前期	分野	専門技術科目/ データサイエンス	必修選択	必修
単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	担当講師	福元 進（専任教員）
授業概要	<p>①情報化の進む医療の現場で働く者として、あらゆる医療情報を収集・分析・利用できる為の情報技術の基礎・応用を身につける。</p> <p>②日本医療情報学会の実施する「医療情報技師検定試験」の受験科目のうち、情報処理技術編に合格するための知識を身につける。</p> <p>③「情報セキュリティマネジメント」試験範囲のうち、テクノロジー分野の知識を身につける。</p>						
到達目標	<p>①ネットワークの仕組みを説明できる。</p> <p>②ネットワークの構築ができる。</p> <p>③データベースの設計ができる。</p> <p>④データベースの運用と保守ができる。</p> <p>⑤システムの分析ができる。</p> <p>⑥システムの障害管理について説明できる。</p>						
授業計画	回数	授 業 内 容					
	1	情報処理技術者試験の概要、基数変換復習①					
	2	基数変換復習②、ハードウェア復習					
	3	インターフェース、ソフトウェア復習					
	4	論理回路・論理演算復習					
	5	アルゴリズム復習					
	6	RAIDシステム					
	7	ネットワーク復習①					
	8	ネットワーク復習②					
	9	システム評価					
	10	データベース復習①					
	11	データベース復習②					
	12	「医療情報技師」過去問題の実践・解説①					
	13	「医療情報技師」過去問題の実践・解説②					
	14	「情報セキュリティマネジメント試験」過去問題の実践、解説					
15	科目修得試験						
評価方法	<p>以下の内容で総合的に評価し、6割以上で単位を認める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科目修得試験 90% ・受講態度、出席状況 10% 						
テキスト 参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・使用テキスト 講師作成の資料を使用する。 ・参考文献等 医療情報（情報処理技術編） 情報セキュリティマネジメント教科書 						
備考							

科目名	セキュリティマネジメント						
学年		時期	前期	分野	専門技術科目/ データサイエンス	必修選択	必修
単位数	1	時間数	15	授業形態	講義	担当講師	福元 進（専任教員）
授業概要	ICTを活用する上で必須となる「セキュリティ」技術について理解を深め、情報セキュリティの知識を有する専門職を目指す。また、国家試験「情報セキュリティマネジメント試験」にも挑戦し、合格を目指せる知識の習得を図る。						
到達目標	①情報セキュリティ技術について理解できる。 ②情報セキュリティ対策手段について理解できる。 ③セキュリティ関係法規について理解できる。						
授業計画	回数	授 業 内 容					
	1	情報処理技術者試験の概要、情報セキュリティ概論①					
	2	情報セキュリティ概論②					
	3	リスク分析と評価					
	4	情報セキュリティマネジメントシステム					
	5	情報セキュリティ実装技術					
	6	情報セキュリティ関係法規					
	7	まとめ					
	8	科目修得試験					
評価方法	以下の内容で総合的に評価し、6割以上で単位を認める。 ・科目修得試験 90% ・受講態度、出席状況 10%						
テキスト	・使用テキスト 講師作成のプリント						
参考文献	・参考文献等 徹底攻略 情報セキュリティマネジメント教科書						
備考							

科目名	統計演習						
学年		時期	後期	分野	専門技術科目/ データサイエンス	必修選択	必修
単位数	1	時間数	30	授業形態	演習	担当講師	平田 賢一（非常勤講師）
授業概要	医療情報管理科で学習した「表計算実習」における知識・技術をベースに、診療情報管理士として必要な情報収集・分析方法に関する応用技術を修得する。また、同時に統計学に関する知識や表計算ソフトを使用した統計方法についても学習していく。						
到達目標	表計算ソフトを利用して、統計分析ができるようになる。						
授業計画	回数	授 業 内 容					
	1	統計の基礎、用語					
	2	尺度とその種類					
	3	度数分布とヒストグラム					
	4	様々な代表値					
	5	正規分布①					
	6	世紀分布②					
	7	散布図と相関関係					
	8	回帰分析					
	9	推測統計演習①					
	10	推測統計演習②					
	11	演習問題①					
	12	演習問題②					
	13	演習問題③					
	14	まとめ					
15	科目修得試験						
評価方法	以下の内容で総合的に評価し、6割以上で単位を認める。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 家屋修得試験 80% ・ 受講態度、出席状況 20% 						
テキスト 参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用テキスト 講師が準備するプリント 診療情報管理士問題集（専門編） ・ 参考文献等 なし 						
備考							

科目名	医事業務研究						
学年		時期	前期	分野	専門技術科目／ 診療情報管理士	必修選択	必修
単位数	2	時間数	60	授業形態	演習	担当講師	川野 哲朗（専任教員）
授業概要	<p>医事業務に関わる専門職をめざす者として、研修（研究、修養）の意義を理解し、具体的に取 り組む姿勢を身につけ、個々のテーマに沿い実践（研究活動）する。</p> <p>また、卒業後を含め、関連する職能団体（学会等）の研修等の活動に積極的に参加し、専門職 としての資質の向上やキャリアアップに対する意識づけを図る。</p>						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 専門職をめざす者としての研修の意義を理解し、研究活動に取り組める。 2. 個々のテーマを設定し研究計画を作成できる。 3. 「伝達」「理解」「時間」等に留意し発表できる。 4. 学会活動を想定し、医事業務に関する資料の作成や発表ができる。 						
授業計画	回数	授 業 内 容					
	1	オリエンテーション	研究の意義と目的、授業の進め方（自己学習含む）				
	2	研究の流れについて①	事例（先行研究）学習				
	3	研究の流れについて②	論文の書き方について				
	4	テーマ設定①	大テーマ設定「私たちと医療」（仮）				
	5	テーマ設定②	テーマの絞り込み				
	6	テーマ設定③	テーマ設定の理由				
	7	仮説の設定	仮説設定の手順				
	8	研究方法について	文献、調査、フィールドワーク、実験				
	9	研究計画作成①	原案作成				
	10	発表、評価、課題提示	テーマ、仮説、研究計画（方法）				
	11	研究計画作成②・研究活動①	修正、確認、学内研究①（文献、HP 他）				
	12	研究活動②	学内研究②（文献、HP 他）				
	13	研究活動③	学内研究③（分析、考察）				
	14	抄録作成	※資料作成、発表準備				
	15	研究発表、評価、課題提示	テーマ、仮説、研究計画（方法）、分析、考察				
	16	オリエンテーション	医事業務と研修、日本診療情報管理学会について				
	17	医事業務関連テーマ設定①	テーマの絞り込み				※抄録①
	18	医事業務関連テーマ設定②	テーマ設定の理由				※抄録②
	19	仮説の設定、研究計画の作成	分析（研究の可否）、研究方法				※抄録③
	20	研究活動①	※学内、学外、時間外 → 報告、確認、修正				
	21	研究活動②	※学内、学外、時間外 → 報告、確認、修正				
	22	研究活動③	※学内、学外、時間外 → 報告、確認、修正				
	23	研究活動④	※学内、学外、時間外 → 報告、確認、修正				
	24	研究活動⑤	※学内、学外、時間外 → 報告、確認、修正				
	25	抄録作成①	分析				※抄録④
	26	抄録作成②	考察、まとめ				※抄録⑤
	27	抄録作成③、発表準備①	校正、発表資料作成、手順確認 他				
	28	発表準備②	リハーサル、修正、質疑応答準備				
	29	研究発表、質疑応答	評価、課題の確認				
30	まとめ	修正、今後の取り組みについて（ふりかえり）					

評価方法	<p>以下の内容で総合的に評価し、6割以上で単位を認める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 演習課題 30% ・ 抄録 30% ・ 発表 30% ・ 受講状況 10%
テキスト等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用テキスト なし ※学習プリント及び課題用紙等を配布する。
備考	<ol style="list-style-type: none"> 1. 毎回の課題の取り組み、時間外の自主的な活動により学習効果を高める。 2. シラバスや目標（研究計画、抄録、発表）をふまえ、時間管理に留意する。 3. 基本的に2時間を1コマとし、進捗状況により授業内容の変更もあり得る。

科目名	医療統計 I						
学年		時期	前期	分野	専門技術科目／ 診療情報管理士	必修選択	必修
単位数	1	時間数	15	授業形態	講義	担当講師	福元 進（専任教員）
授業概要	診療情報管理士として必要となる「データのグラフ表現」「病院の統計資料」「臨床研究の主な手法と医学系研究に関する倫理指針」についての知識を深める。						
到達目標	①グラフの特徴について説明できる。 ②主な医療評価指標の公式、特徴について説明できる。 ③コホート研究と症例対象研究の違いについて説明できる。						
授業計画	回数	授 業 内 容					
	1	データのグラフ表現					
	2	病院統計資料					
	3	臨床研究の主な手法と医学系研究に関する倫理指針					
	4	問題集の演習①					
	5	問題集の演習②					
	6	問題集の演習③					
	7	まとめ					
	8	科目修得試験					
評価方法	以下の内容で総合的に評価し、6割以上で単位を認める。 ・科目修得試験 90% ・受講態度、出席状況 10%						
テキスト 参考文献	・使用テキスト 診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 講師作成のプリント ・参考文献等 なし						
備考							

科目名	国際統計分類 I						
学年		時期	前期	分野	専門技術科目／ 診療情報管理士	必修選択	必修
単位数	3	時間数	45	授業形態	講義	担当講師	丸山こずえ（非常勤講師）
授業概要	情報処理の効果的な処理方法である「分類法」の理論と技法を習得し、ICD-10の活用能力を高め診療情報管理を従事するものとしての知識を身につける。関連するDPC制度及びがん登録に関する知識も身につける。						
到達目標	① 国際疾病分類への理解を深め、医療情報・統計関連業務に関する知識と技術を習得する。 ② 原死因や主要病態を決定するためのルールを説明できる。 ③ 医療における情報を活用するために必要な管理方法と業務内容を列記できる。 ④ 診療情報管理士認定資格を取得するための知識を習得する。						
授業計画	回数	授 業 内 容					
	1	診療情報管理論Ⅱ 第9章 診療情報管理士の実務					
	2						
	3	国際疾病分類Ⅰ わが国の人口動態統計					
	4	国際疾病分類Ⅰ 国際疾病分類（ICD）の歴史、現状、構造					
	5	国際疾病分類Ⅰ 国際疾病分類ファミリー（WHO-FIC）の概念と構想					
	6	国際疾病分類Ⅰ 国際生活機能分類（ICF）					
	7						
	8	国際疾病分類Ⅰ 国際疾病分類腫瘍学（ICD-O）					
	9	国際疾病分類Ⅰ 原死因選択ルール ・死亡診断書（死体検案書）の意義 ・原死因の選択および修正ルールの使用手順 ・各原則とルール内容 ・死亡診断書精度監査の意義					
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15	国際疾病分類Ⅰ 主要病態のコーディングと再選択ルール					
	16	国際疾病分類Ⅰ 診断群分類（DPC）における国際疾病分類（ICD）の利用					
	17	国際疾病分類Ⅱ 国際疾病分類の基本 基本体系及び各章の特徴と構成					
	18	国際疾病分類Ⅱ 複数病態分類、複合病態分類及び二重分類 内容例示及び索引表で用いられている記号と符号					
	19	国際疾病分類Ⅱ 用語の定義及び傷病名の構成、コード索引方法の解説					
	20	総括（認定試験対策含む） 第9章、11章、12章の試験実施					
	21						
	22						
23	科目修得試験						
評価方法	以下の内容で総合的に評価し、6割以上で単位を認める。 ・科目修得試験 ・受講態度、出席状況						
テキスト 参考文献	・使用テキスト 診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ2020 初版 診療情報管理士教育問題集 2019 専門・8章～12章						
備考							

科目名	国際統計分類Ⅱ						
学年		時期	前期	分野	専門技術科目／ 診療情報管理士	必修選択	必修
単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	担当講師	馬原裕加里（専任教員）
授業概要	ICD-10の成り立ちや具体的な使用方法を理解することにより、それらの活用能力を身につけ、診療情報管理に従事する者として分類の知識を高める						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国際統計分類の具体的な使用方法を理解する 2. 各疾患学習で得た知識を活かし、疾患名からICD-10（大分類）を導き出す 3. 診療情報管理士認定試験受験に必要な知識を身につける 						
授業計画	回数	授 業 内 容					
	1	概 論：コーディングをはじめるとあって					
	2	概 論：ICD-10（2013年版）準拠の概説					
	3	概 論：「内容例示表」と「索引表」の使用方法、二重分類					
	4	概 論：表示記号と符号、用語の定義及び傷病名の構成					
	5	各章の理解：第Ⅰ・Ⅱ章について					
	6	各章の理解：第Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ章について					
	7	各章の理解：第Ⅵ・Ⅶ章について					
	8	各章の理解：第Ⅷ・Ⅸ章について					
	9	各章の理解：第Ⅹ・Ⅺ・Ⅻ章について					
	10	各章の理解：第ⅩⅢ・ⅩⅣ章について					
	11	各章の理解：第ⅩⅤ・ⅩⅥ章について					
	12	各章の理解：第ⅩⅦ・ⅩⅧ章について					
	13	各章の理解：第ⅩⅨ・ⅩⅩ章について					
	14	まとめ					
15	科目修得試験						
評価方法	<p>以下の内容で総合的に評価し、6割以上で単位を認める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科目修得試験 70% ・受講態度、出席状況 30% 						
テキスト 参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・使用テキスト 診療情報管理Ⅳ（日本病院会通信教育）、診療情報管理士問題集（日本病院会）、ICD-10簡易版 ・参考文献等 ICD-10 2013準拠（財団法人構成統計協会） 						
備考	配布されたプリント等は確実に保管し、後利用できるような資料作りを行う						

科目名	診療情報管理論Ⅱ						
学年		時期	前期	分野	専門技術科目／ 診療情報管理士	必修選択	必修
単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	担当講師	谷元 淳 (非常勤講師) 小倉千春 (非常勤講師)
授業概要	<p>①診療情報管部門の業務内容の実務を理解することにより、医療情報の管理・活用法を身につける。</p> <p>②診療情報に関わる関連法規の知識を得て、診療情報管理の社会的役割を認識する。</p>						
到達目標	<p>①診療情報管理部門の日常業務を説明する。</p> <p>②診療情報の収集について、監査、診療情報のデータベース化等を行う。</p> <p>③診療情報の管理について、日常業務のあり方からあるべき姿を説明する。</p> <p>④診療情報の活用について、実例より分析をおこなう。</p> <p>⑤診療情報管理士認定資格の知識を取得する。</p>						
授業計画	回数	授 業 内 容					
	1	診療情報管理士の意義と役割					
	2	診療記録の価値					
	3	診療情報管理の歴史					
	4	診療記録の記載と保存についての法規					
	5	診療記録の電子化に関する法規					
	6	診療記録の提示に関する法規					
	7	医療事故にともなう法的責任					
	8	診療情報の守秘に関する法規					
	9	個人情報の保護に関する法律					
	10	個人情報の取扱いのためのガイダンス					
	11	診療情報提供に関する指針					
	12	診療記録の記載方式 (POS、クリニカルパス)					
	13	診療情報の記載					
	14	診療情報管理士の業務指針					
15	科目修得試験						
評価方法	<p>以下の内容で総合的に評価し、6割以上で単位を認める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科目修得試験 70% ・レポート課題 20% ・受講態度、出席状況 10% 						
テキスト 参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・使用テキスト 診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 2020初版 診療情報管理士教育問題集 2019 ・参考文献等 なし 						
備考							

科目名	診療情報管理論Ⅲ						
学年		時期	前期	分野	専門技術科目	必修選択	必修
単位数	1	時間数	15	授業形態	講義	担当講師	小倉千春（非常勤講師）
授業概要	DPC・医師事務作業補助者・がん登録の実務知識を得て、社会的役割を認識する。						
到達目標	①DPC制度について説明する。 ②医師事務作業補助者業務について説明する。 ③がん登録の実務について説明する。 ④診療情報管理士認定資格の知識を取得する。						
授業計画	回数	授 業 内 容					
	1	診療情報管理士の基本業務					
	2	紙カルテ運用における診療情報管理					
	3	電子カルテ運用における診療情報管理					
	4	診療情報の提供に係る業務					
	5	DPC制度と実務					
	6	医師事務作業補助者業務					
	7	がん登録実務					
	8	科目修得試験					
評価方法	以下の内容で総合的に評価し、6割以上で単位を認める。 ・科目修得試験 80% ・受講態度、出席状況 20%						
テキスト 参考文献	・使用テキスト 診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 2020初版 診療情報管理士教育問題集 2019 ・参考文献等 なし						
備考							

目名	試験対策（医学）						
学年	時期	通年	分野	専門技術科目／ 診療情報管理士	必修選択	必修	
単位数	2	時間数	60	授業形態	演習	担当講師	椎屋良子（専任教員）
授業概要	診療情報管理士認定試験に向けて、医療情報管理科に於いて学んできた医学基礎科目の復習を行い、認定試験に向けて医学基礎科目の知識の習得を図る						
到達目標	①指定問題集を解き、試験範囲とポイントを理解して試験対策に主体的に取り組むことができる ②人体構造および機能について理解し、障害や疾患との関係がわかる ③主な疾患について、その特徴や症状、検査、治療について要点を述べるができる						
授業計画	回数	授 業 内 容					
	1	2章 人体構造と機能	1. 細胞	2. 組織			
	2	2章 人体構造と機能	3. 器官	4. 呼吸器の構造と機能	5. 循環器の構造と機能		
	3	2章 人体構造と機能	6. 消化器の構造と機能	7. 泌尿器系の構造と機能			
	4	2章 人体構造と機能	8. 上肢・下肢の骨と筋肉				
	5	3章 臨床医学総論①	1. ～ 6.	小テスト	振り返り		
	6	3章 臨床医学総論②	1. ～ 4.	小テスト	振り返り		
	7	3章 臨床医学総論③	5. ～ 9.	小テスト	振り返り		
	8	3章 臨床医学総論④	各部位の損傷	小テスト			
	9	4章 臨床医学各論Ⅰ①	感染症及び寄生虫症	1. ～ 6.	小テスト	振り返り	
	10	4章 臨床医学各論Ⅰ②	感染症及び寄生虫症	7. ～ 12	小テスト	振り返り	
	11	4章 臨床医学各論Ⅰ③	感染症及び寄生虫症	13 ～ 18	小テスト	振り返り	
	12	5章 臨床医学各論Ⅱ①	新生物	1. ～ 5.	小テスト	振り返り	
	13	5章 臨床医学各論Ⅱ②	新生物	6. ～ 10.	小テスト	振り返り	
	14	5章 臨床医学各論Ⅱ③	新生物	11. ～ 15.	小テスト	振り返り	
	15	科目中間試験					
	16	6章 臨床医学各論Ⅲ①	血液・代謝	1. ～ 6.	小テスト	振り返り	
	17	6章 臨床医学各論Ⅲ②	内分泌等	1. ～ 8.	小テスト	振り返り	
	18	7章 臨床医学各論Ⅳ①	精神および行動の障害	1. ～ 10.	小テスト	振り返り	
	19	7章 臨床医学各論Ⅳ②	神経系の疾患	1. ～ 11.	小テスト	振り返り	
	20	7章 臨床医学各論Ⅳ③	眼及び付属器・耳及び乳様突起の疾患	1. ～ 4.	小テスト	振り返り	
	21	8章 臨床医学各論Ⅴ①	循環器の疾患	1. ～ 11.	小テスト	振り返り	
	22	8章 臨床医学各論Ⅴ②	呼吸器系の疾患	1. ～ 10.	小テスト	振り返り	
	23	9章 臨床医学各論Ⅵ①	消化器系の疾患	1. ～ 10.	小テスト	振り返り	
	24	9章 臨床医学各論Ⅵ②	腎尿路生殖系の疾患	1. ～ 10.	小テスト	振り返り	
	25	10章 臨床医学各論Ⅶ	周産期系の疾患	1. ～ 7.	小テスト	振り返り	
	26	11章 臨床医学各論Ⅷ①	皮膚系等の疾患	1. ～ 9.	小テスト	振り返り	
	27	11章 臨床医学各論Ⅷ②	筋骨格系等の疾患	1. ～ 5.	小テスト	振り返り	
	28	模擬試験①					
	29	模擬試験②					
30	科目修得試験						
評価方法	以下の内容で総合的に評価し、6割以上で単位を認める。 ・科目修得試験 60% ・小テスト 30% ・受講状況 10%						

<p>テキスト 参考文献</p>	<p>診療情報管理士テキスト 診療情報管理 I 基礎・医学編 日本病院会 診療情報管理士テキスト 診療情報管理 II 基礎・医学用語偏 日本病院会 診療情報管理士問題集 基礎・医学編 日本病院会 ぜんぶわかる 人体解剖図 2018年 成美堂出版</p>
<p>備考</p>	<p>適宜、資料配布</p>

科目名	試験対策（管理）						
学年		時期	通年	分野	専門技術科目／ 診療情報管理士	必修選択	必修
単位数	2	時間数	60	授業形態	演習	担当講師	福元 進（専任教員）
授業概要	診療情報管理士認定試験へ向けた「専門分野」に関する理解を深め、認定試験受験へむけた準備を行っていく。具体的には、問題集に出題されている問に対し、なぜ正しいのか？なぜ誤っているのか？をクラス全体で考察し理解を深めていく方法を用いる。						
到達目標	①診療情報管理士認定試験に合格する。 ②各章ごとの小テスト、模擬試験において、常に8割以上の正解を得られる。						
授業計画	回数	授 業 内 容					
	1	オリエンテーション（認定試験詳細、授業内容の説明）					
	2	小テスト（1章）の実施、回答、解説					
	3	問題集 2章					
	4	問題集 2章					
	5	問題集 2章					
	6	問題集 2章					
	7	小テスト（2章）の実施、回答、解説					
	8	問題集 3章					
	9	問題集 3章					
	10	問題集 3章					
	11	問題集 3章					
	12	小テスト（3章）の実施、回答、解説					
	13	問題集 4章					
	14	問題集 4章					
	15	問題集 4章					
	16	問題集 4章					
	17	小テスト（4章）の実施、回答、解説					
	18	問題集 5章					
	19	問題集 5章					
	20	問題集 5章					
	21	問題集 5章					
	22	小テスト（5章）の実施、回答、解説					
	23	問題集 8、9、10章 ※診療情報管理論Ⅱ・Ⅲの進捗状況による					
	24	問題集 8、9、10章 ※診療情報管理論Ⅱ・Ⅲの進捗状況による					
	25	小テスト（8、9、10章）の実施、回答、解説					
	26	問題集 6、7章					
	27	問題集 6、7章					
	28	小テスト（8、9、10章）の実施、回答、解説					
	29	模擬試験の実施、回答、解説					
30	科目修得試験						

評価方法	<p>以下の内容で総合的に評価し、6割以上で単位を認める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 科目修得試験 90% ・ 受講態度、出席状況 10%
テキスト 参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用テキスト 診療情報管理士テキスト 専門編 2020初版 診療情報管理士教育問題集 2019 ・ 参考文献等 やさしい統計処理
備 考	<p>自宅学習では、積極的に問題集の解答機会を増やし知識の幅を広げる工夫をすること。</p>

科目名	試験対策（総合）							
学年		時期	後期	分野	専門技術科目／ 診療情報管理士	必修選択	必修	
単位数	6	時間数	180	授業形態	演習	担当講師	福元 進（専任教員） 椎屋 良子（専任教員） 馬原裕加里（専任教員）	
授業概要	診療情報管理士認定試験合格へ向けた全分野（医学、専門）それぞれの知識習得度の確認を行いながら、さらに多くの知識習得を実践していく。							
到達目標	① 診療情報管理士認定試験に合格する。 ② 数回実施する模擬試験で8割以上の正解率を出す。							
授業計画	回数	授 業 内 容						
	1	模擬試験（専門）①	試験時間60分、採点30分					
	2	模擬試験（基礎）①						
	3	振り返り（専門）	模擬試験①で誤った問題を中心に復習する					
	4	振り返り（基礎）						
	5	模擬試験（専門）②	試験時間60分、採点30分					
	6	模擬試験（基礎）②						
	7	振り返り（専門）	模擬試験②で誤った問題を中心に復習する					
	8	振り返り（基礎）						
	9	基礎分野		基礎分野の問題集を解き、不明点を解決する				
	10							
	11	専門分野		専門分野（1章～7章）の問題集を解き、不明点を解決する				
	12							
	13	専門分野		専門分野（8章～12章）の問題集を解き、不明点を解決する				
	14							
	15							
	16	模擬試験（専門）③	試験時間60分、採点30分					
	17	模擬試験（基礎）③						
	18	振り返り（専門）	模擬試験③で誤った問題を中心に復習する					
	19	振り返り（基礎）						
	20	専門分野		専門分野（8章～12章）の問題集を解き、不明点を解決する				
	21							
	22	基礎分野		基礎分野の問題集を解き、不明点を解決する				
	23							
	24	模擬試験（専門）④	試験時間60分、採点30分					
	25	模擬試験（基礎）④						
	26	振り返り（専門）	模擬試験④で誤った問題を中心に復習する					
	27	振り返り（基礎）						
	28	基礎分野		基礎分野の問題集を解き、不明点を解決する				
	29							
	30	専門分野		専門分野（1章～7章）の問題集を解き、不明点を解決する				
	31							
	32	専門分野		専門分野（1章～7章）の問題集を解き、不明点を解決する				
	33							
34	専門分野		専門分野（8章～12章）の問題集を解き、不明点を解決する					

授業計画	35	模擬試験（専門）⑤	試験時間60分、採点30分
	36	模擬試験（基礎）⑤	
	37	振り返り（専門）	模擬試験⑤で誤った問題を中心に復習する
	38	振り返り（基礎）	
	39	専門分野	専門分野（8章～12章）の問題集を解き、不明点を解決する
	40	専門分野	専門分野（8章～12章）の問題集を解き、不明点を解決する
	41	基礎分野	基礎分野の問題集を解き、不明点を解決する
	42		
	43	模擬試験（専門）⑥	試験時間60分、採点30分
	44	模擬試験（基礎）⑥	
	45	振り返り（専門）	模擬試験⑥で誤った問題を中心に復習する
	46	振り返り（基礎）	
	47	基礎分野	基礎分野の問題集を解き、不明点を解決する
	48		
	49	専門分野	専門分野（1章～7章）の問題集を解き、不明点を解決する
	50		
	51	専門分野	専門分野（1章～7章）の問題集を解き、不明点を解決する
	52		
	53	専門分野	専門分野（8章～12章）の問題集を解き、不明点を解決する
	54	模擬試験（専門）⑦	試験時間60分、採点30分
	55	模擬試験（基礎）⑦	
	56	振り返り（専門）	模擬試験⑦で誤った問題を中心に復習する
	57	振り返り（基礎）	
	58	専門分野	専門分野（8章～12章）の問題集を解き、不明点を解決する
	59		
	60	基礎分野	基礎分野の問題集を解き、不明点を解決する
	61		
	62	模擬試験（専門）⑧	試験時間60分、採点30分
	63	模擬試験（基礎）⑧	
	64	振り返り（専門）	模擬試験⑧で誤った問題を中心に復習する
	65	振り返り（基礎）	
66	基礎分野	基礎分野の問題集を解き、不明点を解決する	
67			
68	専門分野	専門分野（1章～7章）の問題集を解き、不明点を解決する	
69			
70	専門分野	専門分野（1章～7章）の問題集を解き、不明点を解決する	
71			
72	専門分野	専門分野（8章～12章）の問題集を解き、不明点を解決する	
73	模擬試験（専門）⑨	試験時間60分、採点30分	
74	模擬試験（基礎）⑨		
75	振り返り（専門）	模擬試験⑨で誤った問題を中心に復習する	
76	振り返り（基礎）		
77	専門分野	専門分野（8章～12章）の問題集を解き、不明点を解決する	
78			
79	基礎分野	基礎分野の問題集を解き、不明点を解決する	
80			
81	模擬試験（専門）⑩	試験時間60分、採点30分	

	82	模擬試験（基礎）⑩	
	83	振り返り（専門）	模擬試験⑩で誤った問題を中心に復習する
	84	振り返り（基礎）	
	85	基礎分野	基礎分野の問題集を解き、不明点を解決する
	86		
	87	専門分野	専門分野（1章～7章）の問題集を解き、不明点を解決する
	88	まとめ	診療情報管理士認定試験受験に向けて最終確認を行う
	89		
	90		
評価方法	以下の内容で総合的に評価し、6割以上で単位を認める。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬試験①～⑦の平均点数 80% ・ 受講態度、出席状況 20% 		
テキスト 参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用テキスト 診療情報管理士テキスト 基礎・医学編 診療情報管理士テキスト 専門編 2020初版 診療情報管理士教育問題集2019 ・ 参考文献等 		
備考	自宅学習では、積極的に問題集の解答機会を増やし知識の幅を広げる工夫をすること。		

科目名	D P C 演習						
学年		時期	前期	分野	専門技術科目	必修選択	必修
単位数	1	時間数	15	授業形態	演習	担当講師	馬原裕加里（専任教員）
授業概要	1. D P C の制度の成り立ちから仕組みを理解する 2. D P C 運用の診療報酬請求の基本を理解する						
到達目標	1. D P C 運用におけるコーディング法と監査手法を習得する 2. D P C 運用の診療報酬点数算定ができる 3. 診療情報管理士認定試験受験に必要な D P C 関連知識を身につける						
授業計画	回数	授 業 内 容					
	1	概論：D P C とは、D P C 制度と基本事項、M D C、D P C 対象病院					
	2	概論：医療資源病名・定義副傷病名、診断群分類の点数パターン					
	3	概論：影響評価、D P C / P D P S の計算方法、医療機関別係数					
	4	演習：症例①					
	5	演習：症例②					
	6	演習：症例③					
	7	演習：症例④					
8	科目修得試験						
評価方法	以下の内容で総合的に評価し、6割以上で単位を認める。 ・科目修得試験 80% ・受講態度、出席状況 20%						
テキスト 参考文献	・使用テキスト D P C 点数早見表（医学通信社） ・参考文献等 診療点数早見表（医学通信社）、D P C 請求 N A V I （医学通信社）、 診療情報管理士教育問題集（日本病院会）						
備考	配布されたプリント等は確実に保管し、後利用できるように資料作りを行う						

科目名	施設基準管理						
学年		時期	後期	分野	専門技術科目	必修選択	必修
単位数	1	時間数	15	授業形態	講義	担当講師	黒木 寛 (非常勤講師)
授業概要	「施設基準のルールを理解し診療報酬の適切な取扱い」「施設基準の届出の流れ」について知識を深める。						
到達目標	1. 診療報酬早見表にて診療報酬の算定要件を把握できる。 2. 診療点数早見表にて診療料および加算の施設基準を把握できる。						
授業計画	回数	授 業 内 容					
	1	施設基準とは					
	2	診療報酬の算定要件					
	3	診療料及び加算の施設基準、届出に関する事項					
	4	演習問題					
	5	演習問題					
	6	演習問題					
	7	まとめ					
	8	科目修得試験					
評価方法	以下の内容で総合的に評価し、6割以上で単位を認める。 ・レポート課題 90% ・受講態度、出席状況 10%						
テキスト 参考文献	・使用テキスト 診療報酬早見表 講師作成の資料 ・参考文献等 なし						
備考							

科目名	実習指導						
学年		時期	後期	分野	専門技術科目	必修選択	必修
単位数	1	時間数	15	授業形態	演習	担当講師	馬原裕加里（専任教員）
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習の目的と意義を理解し、実習に臨む基本的な態度を養う 2. 診療情報管理士として必要な資質・知識・技能について考え、自らの課題や目標を明確にする 						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実践的な専門職・技術の基礎理解ができる 2. 社会人としての求められるマナーがわかり実践できる 3. 医療従事者としてどのような人材が求められているかを知り、自己の行動に反映させる 4. 実習の目的と目標を理解し、それをもとに自己の目標を立てることができる 						
授業計画	回数	授 業 内 容					
	1	事前指導：実習概要					
	2	事前指導：診療情報管理業務について					
	3	事前指導：守秘義務及び個人情報保護法について					
	4	事前指導：自己分析・学習目標設定					
	5	事前指導：事前訪問について、直前指導					
	6	事後指導：礼状作成、報告書作成					
	7	事後指導：実習報告準備					
8	実習報告会						
評価方法	<p>以下の内容で総合的に評価し、6割以上で単位を認める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受講態度、出席状況 40% ・ 報告会 60% 						
テキスト 参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用テキスト 実習要項 ・ 参考文献等 なし 						
備考							

科目名	診療情報管理実習						
学年		時期	後期	分野	専門技術科目	必修選択	必修
単位数	1	時間数	40	授業形態	実習	担当講師	馬原裕加里（専任教員）
授業概要	机上で学んだ知識と技術が、実践の場でどのように活用されているかを体得し、同時に医療機関において必要な対人関係スキル・社会性について学ぶ。また、医療機関における専門職を目指す使命感と責任感を自覚し、診療情報管理の具体的な活用や今後の在り方など、常に問題意識をもち実習に取り組む。						
到達目標	① 病院の基本的機能について理解する。 ② 診療情報管理部門の病院内で果たしている機能について理解する。 ③ 診療情報管理の実務を体験し、指導者のもとで基本的な業務を身につける。 ④ 日常の業務を通じて、専門職としての使命や責任についての自覚を持つ。 ⑤ 診療情報管理士を目指す上で自分に不足しているスキルに気付く。						
授業計画	回数	授 業 内 容					
	5 日 間	① 実習施設を理解する 組織、機能、施設、院内規定について学ぶ ② 診療情報の機能を理解する 具体的な業務内容について学ぶ ③ 診療記録の流れを理解する 診療記録貸出・返却業務、アリバイ管理、診療記録の収納・保管等 ④ 入院記録の管理、点検 サマリーの点検等 ⑤ 診療記録監査業務 ⑥ コーディング業務 ⑦ DPC業務 ⑧ 医療統計、日報・月報の作成 ⑨ その他					
評価方法	以下の内容で総合的に評価し、6割以上で単位を認める。 ・実習評価表 50% ・実習報告書 10% ・実習日誌 30% ・自己評価表 10%						
テキスト 参考文献							
備考							

科目名	全学連携演習						
学年		時期	前期・後期	分野	その他(医・介)独自科目(こども)	必修選択	必修
単位数	1	時間数	15	授業形態	演習	担当講師	各グループ担当教務
授業概要	<p>本校では、医療、介護福祉、保育、幼児教育分野それぞれの専門的な学習を行っている。将来、それぞれの専門職として活躍するためには、他の専門職と連携を図りながら実践していく。その第一歩として、本校で学ぶ仲間と交流を図りながら、自らが学ぶ学習領域以外にも触れていき、その経験を将来それぞれの立場で活用可能なものにしていくことを目的とする。</p>						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学年、学科を越えた仲間との積極的な交流を図る。 2. 自らの学習領域以外の分野に触れて理解を深める。 3. 交流の中で、意見交換を行いながら、各個人が意見や考えを持ち、それをもとに主体的に行動する態度を涵養する。 						
授業計画	回数	授 業 内 容					
	1	オリエンテーション・自己紹介					
	2	交流レクリエーション					
	3	第3回～第7回については、グループごとにローテーションで以下の内容で実施していきます。					
	4	・医療情報分野体験					
	5	・介護福祉分野体験					
	6	・保育分野体験 上記に加え、姉妹校である東洋公衆衛生学院との連携講座を実施します。					
	7	・臨床検査技師・放射線技師分野(東京校との連携)					
8	特別講座との関連について ・医療分野における特別講座を実施予定とします。						
8	振り返り						
評価方法	<p>以下の内容で総合的に評価し、6割以上で単位を認める。 出席状況及び活動状況(60%)、活動記録及び総括レポート提出(40%)</p>						
テキスト 参考文献	別冊「全学連携演習ファイル」						
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回活動の際には、別冊「全学連携演習ファイル」を持参しておくこと。 ・活動後には、「全学連携演習ファイル」を担当教務に提出すること。 						

令和3年度
教 育 要 項

発行日 令和3年4月1日

学校法人 東洋学園
宮崎医療管理専門学校
教務部 医療情報管理専攻科

〒889-1701 宮崎県宮崎市田野町甲1556-1

TEL 0985-86-2271

FAX 0985-86-2273

URL <http://www.toyomc.ac.jp>